

授業科目	看護の統合と実践IV	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	3年次後期	1	講義・演習	30時間
到達目標	1. 複数患者の援助を通して、適切な状況判断、対応の基本を理解する。 2. 対象の状況に対して優先順位を考慮した援助を安全・安楽に実施する方法を考える。 3. 状況に応じた対応について、自己の課題を明確にする。					講師
						専任教員
授業計画						
1回	オリエンテーション 事例紹介					
2回	複数患者の優先順位を考えた看護の実践 事前学習のグループワーク					
3回	複数患者の優先順位を考えたシミュレーション演習					
4回	複数患者の優先順位を考えたシミュレーション演習					
5回	全体デブリーフィング					
6回	多重課題事例の事前学習					
7回	多重課題事例のシミュレーション演習					
8回	多重課題事例のシミュレーション演習					
9回	全体デブリーフィング					
10回	客観的臨床能力試験（OSCE）事例紹介					
11回	客観的臨床能力試験（OSCE）事例の事前学習のグループワーク					
12回	客観的臨床能力試験（OSCE）事例の技術練習					
13回	客観的臨床能力試験（OSCE）事例の技術練習					
14回	客観的臨床能力試験（OSCE）後のデブリーフィング					
15回	客観的臨床能力試験（OSCE）後のデブリーフィング					
評価方法	客観的臨床能力試験（70%）、レポート（20%）、ポートフォリオ（10%）を総合して評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学Ⅲ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					